

1 事業概要

		課名	長寿支援課	事業No.	367
事務事業名		会計	介護保険特別会計		
		事業区分	政策	実施区分	継続
		開始	H29	終了	
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称	
	戦略計画		7	共に支え合い、自ら行動する地域福祉を充実させる	
	分野別計画		高齢者福祉計画・介護保険事業計画		
法令・例規等		介護保険法			
事業目的	対象	地域の福祉課題を解決するために事業を立ち上げる意志のある人			
	意図	事業を立ち上げるための支援を行う			

2 事業内容

29年度 取組	取組内容		経費の内容				事業費(千円)	
	生活支援コーディネーターの設置について、飯田市社会福祉協議会の地域福祉コーディネーターが生活支援コーディネーターを兼ねることとしました。 住民サロンや住民による通所型サービスなどの通いの場の創出やその支援など、これまでの地域福祉コーディネーター事業の方向性を継続し、取り組みを進めています。							
							0	
活動指標	指標名 (数値で表せる活動量)	単位	平成28年度 実績	平成29年度 実績	平成30年度 実績	平成31年度 実績	平成32年度 実績	
29年度 決算 (千円)	予算額	1,500	特定財源内訳及び補足事項					
	決算額	0						
	財源の 状況	国庫支出金	0					
		県支出金	0					
		地方債	0					
		その他	0					
	一般財源	0						

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	予算額	決算額	中事業名(科目名称)
1	5	5	3	1	20	2	1,500	0	生活支援サービス創出コーディネート事業費
2									
3									
4									
5									
6									
7									
振り返り課題認識		通いの場をはじめとする生活支援サービスの創出の支援や調整を担う生活支援コーディネーターの設置については、飯田市社会福祉協議会との協議の結果、飯田市社会福祉協議会に配置されている地域福祉コーディネーターに兼ねて位置付けることを決定しました。今後も、住民サロンや住民による通所型サービスなどの通いの場の創出やその支援など、一層取り組みを推進する必要があります。							
上記の課題解決のための有効策		これまでの地域福祉コーディネーター事業の方向性を継続し、地域福祉コーディネーター（生活支援コーディネーター）の事業を一層推進することが必要です。							
次年度に向けての取り組み		地域福祉コーディネーター（生活支援コーディネーター）事業に継続して取り組みます。							